

- 外航日本人船員（海技者）確保・育成スキームへの配乗船提供を呼びかけ -
同スキーム船社説明会の模様と 2010 年度配乗船提供のお願い

当協会、国際船員労務協会、全日本海員組合、および国土交通省で構成する「外航日本人船員（海技者）確保・育成推進協議会」（事務局：（財）日本船員福利雇用促進センター（SECOJ））は、「外航日本人船員（海技者）確保・育成スキーム」の 2010 年度配乗船募集に関する説明会を、7 月 21 日～22 日に開催した。

同スキームは、外航日本人海技者の減少を背景に、船員教育機関の卒業生を対象に、即戦力として活躍できる船員（海技者）へキャリア形成を図ることを目的として、官労使協力の下、2007 年 4 月に開始されているもので、これまで 1 期生～3 期生の計 45 名を受け入れ、内 14 名が船員・海技者として外航船社に就職している。

今回の説明会は、我が国外航海運事業者を対象とし、2010 年 10 月から開始される 1～3 期生（合計 26 名、うち航海士 23 名、機関士 3 名）の乗船育成及び同年 12 月から開始される 4 期生（定員 20 名で現在最終選考中）の乗船研修に配乗船の提供を呼びかけるため開催された。

7 月 21 日に愛媛県今治市（今治国際ホテル）で開催された説明会には、愛媛船主を中心とした 12 社が参加した。会の冒頭、協議会を代表して当協会林副会長より挨拶がなされた後、SECOJ よりスキームの説明がなされた他、全日本海員組合よりスキーム受講生採用者に対する補助制度の説明がなされ、その後質疑応答が行われた。（協議会からは、全日本海員組合渡部外航部長他も参加）また、会議後には懇親会も行われた。

7 月 22 日に都内（マリナーズコート東京）で開催された説明会には、計 11 社が出席し、今治同様に進行がなされた。（協議会からは、当協会林副会長・石川企画部部長、国際船員労務協会井上常務理事事務局長、全日本海員組合渡部外航部長他が出席）

説明会の挨拶において、林副会長からは、大きな費用負担なく若年船員を手許で育て、中途採用することが可能となる本スキームのメリットが強調され、参加者に配乗船提供への協力と、本スキームで育った有為な人材の採用が呼びかけられた。



▲ 今治説明会の模様

上述の通り、2010 年度は 1～4 期生合計で最大 46 隻の配乗船確保が必要となり、上記説明会の参加社による提供船を以っても配乗船が大幅に不足することが懸念されるため、当協会事務局は 7 月 26 日付で会員各社（外航海運関係）代表に対し、配乗船提供の呼びかけを行っています。当協会会員各社および会員外の我が国外航船社各社ご担当におかれまして、本スキームにご関心があれば、直接資料等をお送りしますので、是非とも以下事務局担当まで連絡をお願い致します。

担当：企画部 <small>やまがみ</small> 山上（TEL: 03-3264-7174/e-mail: pln-div@isanet.or.jp ）
--
